

<牧会ミニ通信>No.22 2020.9.27

「牧師夫人として気を付けておくべきことは何かありますか」と尋ねたわが妻一、「聖書を読んで、何時もニコニコしててください」と返答したわたし。わが妻はといえば、「弱い立場の人を一番大切にしてください」との助言でした。現実にはどうであったかはご想像にお任せします。

ある時、K姉妹が近隣の教会から嫁いできました。しばらくして、「彼女がいなくなってホッとした」との噂を耳にしました。どうも、彼女はとんでもないトラブル・メーカーであったようです。

横浜元町の下町育ちであります。物資の乏しい時代に、きらびやかな輸入雑貨の並んでいる全国的にも有名な元町のショー・ウインドを、幼い頃から物欲しげにのぞきながら育ったのではないかと思われました。

盗むというより、寸借する癖がありました。その癖がなかなか治りません。靴や腕時計や財布が時々紛失します。

ある時、台所で洗いをしていた奉仕神学生の時計が無くなりました。教会の目と鼻の先に交番があります。交番に届けたらとは言うものの、教会内の出来事とすれば、最善・最良な処置とは言えません。対応に大変苦慮しました。しかし、妙案はありませんでした。

不可解・不条理な問題と直面することは何時の時代の教会にも起こりえます。「悪魔に機会を与えてはいけない。盗んだ者は、今後、盗んではならない。むしろ、貧しい人々に分け与えるようになるために、自分の手で正当な働きをなささい」(エペソ4:27)一、これは、使徒パウロのエペソ教会のクリスチャンに対する注意です。せいぜい、注意し合うしかありません。主イエスなら如何に対処なされたことでしょう。

彼女は、CSの奉仕を最後まで熱心に励みました。祈れば若い時から身に着けた祈りに熱心です。共に聖餐にも与りました。

60歳を過ぎて主に召された彼女ですが、今や教会の墓苑に皆さんと一緒に共に納骨されています。

周東のぞみキリスト教会：牧師 結城 晋次